

2018年度 事業報告書

(期間：2018年4月1日～2019年3月31日)

特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業分類	事業名	主な事業内容	実施場所	頁
国内外におけるスポーツ大会、イベントの運営協力事業	▶アンコールワット国際ハーフマラソン(AWHM)後援 ▶レクリエーション大会	・大会名誉会長である代表が、前夜祭、大会に参加し、スタディツアーの有志と共に大会を盛り上げた ・参加者は10,500人(78ヶ国・地域から) ・チェイ小学校の子ども達とミニ運動会をして交流	カンボジア	2
	▶スポーツエイド ▶チャリティイベント	・チャリティマラソンやスポーツイベントの実施・運営協力 ・チャリティイベントの開催協力	日本	—
スポーツを通じた開発支援事業	▶小学校体育科教育普及	・青年海外協力隊と連携し、地方での体育ワークショップ実施やHPでの動画活用により、体育をさらに普及していく ・教育大臣を始めとしたキーパーソンへの働きかけを継続	カンボジア	—
	▶スポーツ施設設置	・体育拠点小学校・中学校に施設及び用具を支援 ・設置済み浄水器のメンテナンス		3
	▶中学校体育科教育指導書作成・普及事業【JICA 草の根技術協力】	・指導書執筆ワークショップ ・指導書試行ワークショップ ・指導書案・導入モデル州ワークショップ(3州) ・体育実施状況モデル州モニタリング(3州)		4
	▶NIPES4年制大学化プロジェクト【外務省 NGO 連携無償資金協力】	・カリキュラム内容検討ワークショップ ・アドミッション・ポリシー等検討ワークショップ ・高校体育指導書作成支援本邦研修(9名)		5
障がい者支援事業	▶障がい者陸上競技振興	・障がい者ランナーや指導者のニーズに沿って、パラ陸上競技会開催や、選手・コーチの能力向上のためのワークショップやトレーニング支援を継続 ・アンコールワット国際ハーフマラソン参加への支援継続	カンボジア 日本	5
	▶日本のマラソン大会への招聘	・障がい者ランナーをかすみがうらマラソンに招聘		
被災地・紛争地における自立・復興支援事業	▶日本語教育	・チェイ小学校の日本語教室(初級) ・岡山学芸館高校に留学(8月-翌年7月、1名) ・BBU大学の日本語講座(中・上級クラス)、日本語検定試験対策、少人数でのグループレッスンなどを実施	カンボジア	6
	▶養護施設(NCCG)運営	・孤児や貧困児童を受入れ、里親制度により、養育を行う ・ローカルスタッフの人材育成 ・日本の学校との交流	カンボジア	7
	▶子どもの健康増進・疾病予防	・日本人歯科医による歯科検診(チェイ小学校、12月) ・むし歯予防のための歯磨き指導 ・設置済み浄水器のメンテナンス		
	▶7.7西日本豪雨	・財産保護活動(日本警察消防スポーツ連盟と協働) ・夏休みにおける避難所でのイベント	日本	8
国際理解・交流事業	▶スタディツアー	・学生や団体のスタディツアー受入れ(18回) ・国際協力の現場見学とボランティア体験や交流により、貧困・平和・開発について理解を深めることへの協力	カンボジア	9
	▶サービスマスター(学校教育)	・学校に講師派遣、スカイプや文通などで交流(12回) ・国際協力の実践的学習の場を学校に提供	日本 カンボジア	
	▶研修啓発・講演会・イベント参加	・HGについての講演・報告・広報活動		
	▶インターン受入れ(国内外)	・インターンの受入れ(短・長期)(3名)		
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	▶調査/研修	・調査。シンポジウム、国際会議への参加 ・岡山県にて障がい者スポーツ指導のための研修(9-11月)	日本 カンボジア	—
	▶広報活動	・「HG通信」を年2回発行 ・ホームページの更新及び活動資料の作成・整備 ・各地で開催されるイベント等に参加し、活動の広報を通して国内での支援者の拡大を図る		

(2) その他の事業

定款の事業分類	事業名	事業内容	実施場所
バザーその他物品販売事業	▶チャリティバザー ▶グッズ販売 ▶パネル展示	・グッズ販売で活動資金を集める ・各地で開催されるイベントで活動を広報し賛同者を拡大	日本

※福武哲彦教育賞(岡山の子ども達への教育に貢献したことを評価)とHEROs AWARD 2018(20年に渡るスポーツを通じた開発支援を評価)を受賞